

令和6年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 新人大会 柔道大会 要項

1 主 催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

2 主 管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部

3 大会期日 令和6年9月28日(土) 午前:団体戦 午後:個人戦
7時30分 役員集合 7時45分 生徒入場
8時10分 検査・計量 9時30分 試合開始

4 会 場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905
スポーツ振興課 0270-74-1113

5 競技役員

専門部長 松本 明良 (第二中)

専門副部長 中島 広明 (あずま中)

専門委員長 木暮 寛幸 (第四中)

委 員 高橋 哲 (第一中) 出木浦絵未 (第一中) 井上 源貴 (第二中)

秋山 俊樹 (第二中) 新井 聡明 (第三中) 原島 留美 (第三中)

齋藤 亮介 (第四中) 星野 治道 (殖蓮中) 中村 太志 (殖蓮中)

上原 康暉 (宮郷中) 三塚 良浩 (宮郷中) 三輪 洋介 (赤堀中)

竹林 千晴 (赤堀中) 菅野 晃平 (あずま中) 関口佳奈恵 (あずま中)

竹内 博利 (四ツ葉) 関口淳乃助 (玉村中) 田所 直人 (玉村中)

石原 卓也 (玉南中) 篠崎 真樹 (玉南中) 仁科 功 (境柔教)

6 競技規則

国際柔道連盟試合審判規程(最新版)および国内における「少年大会特別規程」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、「佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項」によって行う。

7 選 手

(1)男子団体戦は各学校単位編成とし、監督1名、コーチ1名、選手5名、補員2名とする。

(2)女子団体戦は各学校単位編成とし、監督1名、コーチ1名、選手3名、補員1名とする。

(3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。

なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。

(4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し、間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。

(5)団体戦において補員の充当により抜けた選手も、個人戦には出場できる。

(6)個人戦は、各体重別とする。

<男子> 50Kg以下, 50kg超 ~ 55Kg以下, 55Kg超 ~ 60Kg以下, 60Kg超 ~ 66Kg以下,
66Kg超 ~ 73Kg以下, 73Kg超 ~ 81Kg以下, 81Kg超 ~ 90Kg以下, 90Kg超
<女子> 40kg以下, 40kg超 ~ 44Kg以下, 44Kg超 ~ 48Kg以下, 48Kg超 ~ 52Kg以下,
52Kg超 ~ 57Kg以下, 57Kg超 ~ 63Kg以下, 63Kg超 ~ 70Kg以下, 70Kg超

8 試合時間 3分

9 試合方法

《団体戦》

団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

(1)男子は4校の2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校によるトーナメント戦を行う。女子は、3校及び4校の2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校によるトーナメント戦を行う。

(2)リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、引き分けとする。

(3)リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

(オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。

(カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。

(4)トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

《個人戦》

各階級でトーナメント戦を行う。

個人戦における判定基準は「技あり」または「僅差」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

10 表彰

団体戦の優勝校には、優勝旗及び賞状を授与し、第2位校、第3位校には賞状を授与する。

個人戦は、階級ごとに別途定める。

11 代表資格

《男子団体戦》本大会では上位5校が代表資格を持ち、県大会に進出する。

《女子団体戦》本大会では上位5校が代表資格を持ち、県大会に進出する。

《個人戦》各階級上位2名が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお、各階級の県総体入賞者がいる場合には、その階級に代表資格者が1名増える。ただし、男子の各階級の選手登録が16名につき1名、女子は各階級の選手登録が8名につき1名、代表資格者が増える。

12 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときはGSにより勝敗を決する。

《個人戦》得点差がないときはGSにより勝敗を決する。

13 その他

- (1)選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は出場できない。なお、襟から5～10cm下に下記のように付ける。
- (2)相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。
- (3)脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医〔脳神経外科〕の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (4)試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤、古番(下または右)を白とする。
- (5)試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

<男子>	先	次	中	副	大	学 校 名
						補 補 員 員
(模造紙 1/4)						

<女子>	先	中	大	学 校 名
				補 員
(模造紙 1/4)				

(ゼッケン) 30～35 (cm)



25～30 (cm)

- ・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。
- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける。

14 大会運営・感染症予防等に関する留意事項

- (1)大会当日までの毎日検温、健康状態の把握をお願いします。
- (2)試合中の大声での指示や指導、声援は禁止とします。応援は拍手をお願いします。

*送迎、駐車場での事故やトラブルについては、一切の責任を負えませんので十分ご注意ください。